

●府民スポーツ広場

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <p>前回検証結果</p>                 | <p><b>要改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の変化に対応したスポーツ施設ニーズを研究するなど、特に平日利用者の増加を図る取組を検討すること。</li> </ul>   |
| <p>対応・改善策実施状況</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高低差のあるグラウンドへの移動困難の利用者意見を踏まえ、引き続き、グラウンド近くまでの車両乗入れを可とする取扱いを実施。</li> <li>・平成29年度から平日のグラウンド使用料を半額とし利用を促進。</li> <li>・空き施設の利用受付や当日の先着順受付を京都府公共施設予約案内システムからの受付に変更し、空き状況の確認と申込みを簡略化し、利用者の利便性を向上。</li> <li>・利用者増に向け、年間利用調整において、新たな競技種目として、クリケットの受入を開始。</li> </ul>  |
| <p>取組の結果</p>                  | <p>◇新型コロナウイルス感染症の影響に関わらず、利用者数、利用率は年々減少。<br/>平成28年度と比較し、令和元年度は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 約15%減少</li> <li>・利用率 約8%減少</li> </ul>  |
| <p>なお残る課題・問題点</p>             | <p>◆立地が不便で、50歳以上の年齢層が約6割以上と、施設の利用者は限定的。</p>   |
| <p>府民サービス等改革検討委員会による改善意見等</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>□利用者の層は限定的で、立地条件に劣り、利用率が50%未満という状況で、府民スポーツの一層の振興を図ることが目的という本施設の位置付けについて、検証が必要ではないか。</li> <li>□公園としてのセールスポイントが明確でなく、本施設へ来て出来ることが現状は限定的である中、既存の利活用の範囲を拡大するよう、ファミリー層や学生層を惹きつける新たな商品化及び販売戦略の立案が必要である。</li> <li>□近隣の商業施設や宿泊施設等との連携により、利活用の促進や認知度の向上を図ることが必要である。</li> <li>□5年前から状況に変化が見られず、府内企業等に使いやすい規制等の見直しにより、民間活力を積極的に導入することに挑戦してほしい。</li> </ul> |
| <p>京都府の検証結果及び対応方向</p>         | <p><b>要改善</b></p> <p>&lt;改善方策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎施設の利用実態や代替施設の存在を踏まえ、施設の新たな利活用について、検討を行うこと。</li> <li>◎新たなターゲット層を見据えた効果的な利活用方法を検討すること。</li> </ul> <hr/> <p>&lt;今後の対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○近隣施設や周辺環境の変化を考慮した新たな取組の実施等により、更なる効果的な利活用を図る。</li> </ul>  |